

感染状況・医療提供体制の分析(9月15日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (9月8日公表)	現在の数値 (9月15日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	1285人	1466人	↑	感染状況コメント レベル3. 感染が拡大しつつあり警戒が必
		定点当たり数	15.30人	17.45人	↑	
		報告数に占める60歳以上の割合	24.4%	20.5%	↓	定点当たり患者報告数は 17.45人 とやや増加。医療機関や施設などでのクラスター継続。インフルエンザも増加している。 人の移動や集まりは一旦落ち着いたが、 全国的にも岡山でも感染者数は高止まりの状況 。高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。また罹患後症状を呈する方も存在している。体調不良時は外出しない、高齢者や基礎疾患のある方にはうつさないようにするといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。
	岡山市保健所	11.36人	14.09人	↑		
	倉敷市保健所	19.69人	23.44人	↑		
	備前保健所	11.80人	12.00人	→		
	備中保健所	20.25人	28.33人	↑		
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	備北保健所	22.33人	16.00人	↓	
真庭保健所		13.33人	14.00人	→		
美作保健所		12.60人	12.30人	→		
医療提供体制	③ 入院患者数	389人	369人	↓	医療提供体制コメント レベル3. 体制が逼迫しつつあると思われる	
	④ 確保病床における入院割合	43.8%	37.4%	↓	県全体としては医療提供体制は安定しているが、確保病床以外への入院や、新型コロナ以外での医療ひっ迫が見られており、一般医療を制限している状況が続いている。	
	⑤ 重症者数	8人	3人	↓		